

※仕様書のすべての項目に漏れないよう記入してください。

依頼試験仕様書（金属製IBC容器）

試験成績書に記載する	会社名	XXXXX株式会社		①	
	住所	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX			
試験名	危険物容器及び包装（IBC容器）の性能試験		試験基準	HK（UN）	
申込区分	新規	日本船用品検定協会の図面確認： 未 / 済			②
	継続	仕様変更： 無 / 有（仕様書備考欄に変更内容記入）			
日本船用品検定協会申請情報		東京 / 大阪 / 福岡 支部 ・ XX XXX様			
		工場調査予定日： 20XX年 XX月 XX日 (継続の場合) 製造年月日： 年 月 日まで			③
日本船用品検定協会への成績書面送希望		しない / する (電子ファイル / 書面)			④
容器仕様	品名	金属製IBC容器 ・ 記号 [31A]			⑤
	表示	[un 31A / Y / XX XX / J / HK / XXXX / 3600 / 2000]			⑥
	型式	XXXX-XX	製造年月 (試験品)	20XX年 XX月	⑦
	製造者	XXXXX株式会社			⑧
	許容容量	1085 L(kg) (最大内容積)			⑨
	許容正味質量	1628 kg (最大正味質量)			⑩
	容器質量 (風袋)	320 ± 0 kg (公差を記入)			⑪
	最大許容総質量	2000 kg			⑫
積み重ね個数	1個			⑬	
充填物質	輸送する物質名	XXXXXXXX			⑭
	国連番号	XXXX	種類	液体 / 固体	⑮
	比重	1.5	容器等級	I / II / III	
試験時の代替物質	物質名：水 / 比重：1.0				⑯
試験品個数	(1) 個 + 予備 (1) 個 = 合計 (2) 個				⑰
口栓部締め付けトルク	XXX	指定水圧試験圧力	XXX kPa		⑱
その他					
備考					

(注) 上記の内容は、試験成績書に記載されますので正確にお書き下さい。

記入例

①	試験成績書に記載する会社名及び住所をご記入ください。
②	欄に○を付けてください。
③	欄に○を付けてください。 担当者のお名前をご記入ください。(不明の場合は無記名) 工場調査予定日と、継続の場合は製造期間を西暦でご記入ください。
④	欄に○を付けてください。 日本船用品検定協会へ成績書を直接弊社から送ることも可能です。
⑤	対象の品名をご記入ください。 例：記号[31A] 31A：鋼 31B：アルミニウム
⑥	HKへの申請書と同じものをご記入ください。
⑦	型式・製造年月（試験品）をご記入ください。
⑧	製造業者名をご記入ください。
⑨	許容容量 = 試験体容器の最大内容積。
⑩	許容正味質量 = 内容物の質量
⑪	容器質量(風袋)±公差をご記入ください。 ※設計公差ではないため、大きめにする事をお勧めします。
⑫	最大許容総質量 = (許容正味質量) + (容器質量(風袋) (公差の最大を考慮))
⑬	積み重ね個数をご記入ください。
⑭	輸送する物質名・国連番号・比重をご記入ください。
⑮	欄に○を付けてください。
⑯	試験時の代替物質名・比重をご記入ください。
⑰	試験品個数をご記入ください。
⑱	指定の口栓部締め付けトルク、水圧試験圧力がある場合にご記入ください。

⑩⑫の計算例

- ・許容容量 = 1085[L]
- ・容器質量(風袋) = 320±0[kg]
- ・比重 = 1.5
- ・試験時の充填物の比重 = 1
- ・充填物 = 液体

⑩許容正味質量 = 1085 × 1.5 = 1627.5
≈ 1628[kg]

⑫最大許容総質量 = 1628 + 320 = 1948
≈ 2000[kg]